

事務事業評価シート

No.	事務事業名	所管部課
13	子育て広場事業	子育て支援部 子ども家庭支援センター

事務事業の概要	事業の目的		根拠法令等
	子育て中の保護者同士の交流の機会を作ることで、育児の疲れを癒し、子育ての不安を解消し、子育ての支援を行う。 根拠法令等…西東京市子ども家庭支援センター事業実施要綱 西東京市住吉会館条例(のどか広場)、西東京市コール田無条例(ピッコロ広場)		<input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業の概要		
■基本事業(地域子育て支援拠点事業) (1)子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 (2)子育て等に関する相談、援助の実施 (3)地域の子育て関連情報の提供 (4)子育て及び子育て支援に関する講習等の実施(月1回以上) ※本市では、子育て広場の他、地域子育て支援センター(保育園内)、児童館を含め全18ヶ所で実施している。 ■子ども家庭支援センターが担当する子育てひろば 実施施設：住吉会館(のどか広場)、コール田無(ピッコロ広場) 利用対象者：0歳から3歳(4歳の誕生日の前日まで)の乳幼児とその保護者等 開設時間：午前10時～午後5時まで 開設日：のどか広場は祝日及び年末年始を除く毎日、ピッコロ広場は月曜日及び年末年始を除く毎日 実施体制：各ひろば、ともに1日3人体制(嘱託員3人他) ※保育士・社会福祉士・保健師・栄養士・教員免許取得者及び児童厚生施設・保育園・幼稚園勤務経験者			
合併以前		実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	28年度 (決算額)	29年度 (決算額)	30年度 (決算見込み額)	令和元年度 (当初予算額)
事業費(A)	千円	13,855	13,292	13,395	14,121
内訳					
主要な経費：報酬		10,439	10,394	10,354	10,765
その他：臨時職員賃金他		3,416	2,898	3,041	3,356
財源					
内訳					
国庫支出金・都支出金		7,956	8,147	8,126	8,416
地方債					
その他 ()					
一般財源		5,899	5,145	5,269	5,705
所要人員(B)	人	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,492	1,532	1,546	1,581
総コスト(D)=(A)+(C)	千円	15,347	14,824	14,941	15,702
単位当たりコスト (E)=(D)/ (利用者数①+②)	千円	0.3	0.3	0.3	—

指標名	単位	28年度	29年度	30年度	令和元年度
①のどか広場利用者数	実績値 人	27,734	25,481	26,249	/
②ピッコロ広場利用者数	実績値 人	31,117	27,328	25,885	
《指標とした数値変化に対する要因分析など》 広場事業の利用者数は、各年度における周辺人口や就業率、保育所入所率等に影響されるものと考え、ピッコロ広場については、利用者が減少傾向にある。					

事業環境等	他団体のサービス水準との比較 (平均値との比較、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	近隣7市の状況としては、7市ともに子育て広場または保育所、児童館等を活用し、少ないところで5箇所、多いところでは11箇所地域子育て支援拠点事業を実施している。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	地域子育て支援センター(保育園内に設置)及び児童館においても、子育て広場と同様に「地域子育て支援拠点事業」として広場事業を実施している。

【一次評価】

検証項目	判定	判定理由
事業の必要性	普通	子育て家庭の支援として不可欠ではあるが、社会情勢の変化で影響される事業である。
実施主体の妥当性	適切	しつけ講座や栄養相談等の教育的対応、関係機関へのつなぎなど、公的な役割を果たす。
事業(補助)の対象	適切	0歳から3歳児とその保護者等を対象とした設備のため現状維持が適切と考える。
事業(補助)の内容	適切	安全な広場運営のため、現在の事業内容や運営体制は適切と考える。
受益者負担	—	—
事業コスト	安い	再雇用嘱託員として定年退職した保育士等の人材を活用し、コスト軽減を図っている。
業務負担	軽い	経験豊富な職員が業務を実施しているため、負担は少ない。
一次評価	評価の判断理由及び現状の課題など	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	1日3名の職員体制は、事業実施にあたり、最低限必要な人数であるが、待機児童対策等の取組により、保育園等の入所者数が増加したことから、子育て広場事業の利用者は減少してきている。今後は、子育て広場と同様の「地域子育て支援拠点事業」を実施している地域子育て支援センター(保育園内に設置)及び児童館の動向も踏まえ、事業の位置づけを見極める必要がある。	

【二次評価】

検証項目	判定	判定理由
事業の必要性	普通	増減はあるものの一定の利用があり、事業の必要性はあると考える。
実施主体の妥当性	適切	相談や支援につなげる必要もあるため、市が主体となって実施する必要がある。
事業(補助)の対象	適切	広く乳幼児と子育て世代を対象とした事業であり適切と考える。
事業(補助)の内容	課題有	市内に地域子育て支援拠点事業を実施する施設が多く存在するため、整理が必要と考える。
受益者負担	—	—
事業コスト	普通	土日の広場開設にも対応した人員を確保しており、コストはかかっている。
業務負担	普通	開設日数は多いが、職員1人当たりの業務負担としては標準的なものとする。
二次評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題、今後改善すべき点等	
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	本市では、ピッコロ広場、のどか広場の他、公立保育園内に設置された地域子育て支援センターや児童館においても「地域子育て支援拠点事業」として広場事業を実施しており、設置数としては18箇所と他自治体と比較しても多い状況にある。当該子育て広場は施設の休館日を除き土日も開設しているが、ピッコロ広場については近年利用者が減少傾向にあるため、将来的な整理・統合も見据え、施設特性や利用実態等を踏まえ、効果的な開設日や開設時間を検証するなど、改善・見直しを図る必要がある。	

【外部評価】

外部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	

【改善の方向性・スケジュールと改善実施にあたっての課題】

改善の方向性・スケジュール	
---------------	--